

コーヒーアーン T10タイプ 取扱い説明書



※ 写真は10G仕様となります。

お客様

このたびは、コーヒーアーンをご購入いただき誠に有難うございます。
この取扱い説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に『安全上のご注意』を必ずお読み下さい。
この取扱い説明書を必要な時にいつでも見ることができる分かり易い場所に大切に保管してください。
この取扱い説明書の不明な点や、使用中に発生した問題点に関する記載が取扱説明書にない場合には
販売代理店に連絡をして下さい。

安全上のご注意（安全に関する重要事項です必ずお読み下さい）

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

表示されているマークの説明



警告

この表示は誤った取扱いですと人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。



注意

この表示は誤った取扱いですと人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。

一般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行なわないで下さい。水漏れや感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いてください。そしてすぐに販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい（電源をコード抜く時には感電をしたり火傷をしないようにして下さい。）
- 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかたり付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源につながっていないこと、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーが無く、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。
- 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意して下さい。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまづいたり、踏まれたりしないようにして下さい。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないで下さい。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払って下さい。
- 部品の取付、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行って下さい。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないで下さい。
- 付属品以外のものを使用しないで下さい。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないで下さい。
- 電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないで下さい。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んで下さい。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外して下さい。
- 本来の目的以外には使用しないで下さい。
- お湯が抽出されている時には十分に注意をして下さい。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所又は訓練を受けた要員が監視できる場所に据付して下さい。



警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。
- 据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしたりしないようにして下さい。電源コードが傷んだままで使用すると感電や火災の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものでお使い下さい。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。



注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
 - 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。
 - 不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
 - 天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となることがあります。
 - 水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置したり、直接当たらない様に保護を行なってください。
 - 設置周辺温度が45℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないで下さい。内部の電気部品などの故障の原因となります。
 - 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。
 - 熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5メガパスカル (Mpa) 以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、浄水器の設置をお奨めします。硬度の高い環境でご使用の場合は、軟水装置を取り付けることをお奨めします。

使用環境条件

気温: 5 - 45 °C (凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。)
湿度: 80% 以下
水硬度: 50以下 (ppm)

- (注) お湯では無く必ず水を給水してください。
- (注) 水以外の飲料 (例えばミルクなど) やミネラルウォーター類は使用しないで下さい。

操作を行なう時の注意事項



注意

- 抽出操作を行なう前にはノズルの向きに注意をして下さい。火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手にお湯がかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないで下さい。感電の危険性があります。
- コーヒーマシンの作動中、コーヒータンクの中に手を入れないで下さい。火傷の原因になります。
- コーヒータンクの洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくことで細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なって下さい。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なって下さい。
- 水の供給をしないでマシンを使用しないで下さい。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないで下さい。
- 硬度の高い水を使用する場合には軟水器をしようしてカルシウム成分の固着を防いでください。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないで下さい。

マシンの毎日の清掃をしないで故障が発生した場合には製品保証の対象となりません。

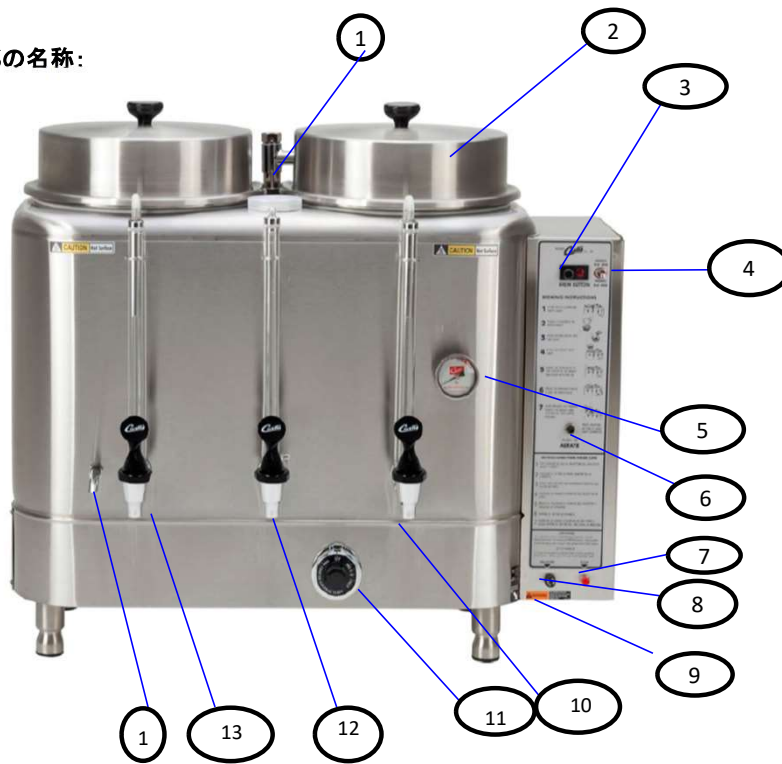
マシン仕様と各部の名称

仕様:

	10ガロン スチーム式	10ガロン 電気式
幅(mm)	1063	
高さ(mm)	993	
奥行き(mm)	522	
重量(Kg)	70	
コーヒータンク数	2	
コーヒータンク容量(最大抽出時)	各32L	
給湯抽出口(ゲージ真ん中)	1	
1時間 最大抽出湯量(推奨)	約120L	
電気容量/電流(KW/A)	250W / 2.5A	8700W / 25A
電源	単相100V 50/60Hz共用	3相200V 50/60Hz共用
電源コード	約2m	
攪拌ポンプ	内蔵式	
給水接続方法	15A バルブ止め	

※仕様は品質向上のため予告なしに変更する場合がございます。

各部の名称:



1	スプレーチューブ
2	アーンカバー
3	抽出ボタン フル/パイロットランプ
4	抽出切り替えスイッチ
5	温度計
6	攪拌ボタン
7	ストップスイッチ
8	ヒューズ 200V/5A
9	主電源スイッチ
10	コーヒー抽出口(右側)
11	サーモダイヤル
12	給湯口
13	コーヒー抽出口(左側)
14	オーバーフローパイプ

設置と使用方法

1. 設置の準備

電気タイプ

- ・ 電源 3相 200V
上記容量のコンセントをマシン設置場所近くに準備して下さい。
- ・ 給水 15Aバルブ止め。バルブ位置が設置台の下にある場合は、給水管貫通させる為の穴を設置台に開けて下さい。(径20～25mm)

スチームタイプ

- ・ スチーム
給気、排気管とも15A。ユニオンで接続。
排気側に逆止弁とスチームトラップを必ず取り付けして下さい。
- ・ 電源
作動用電源として100Vコンセントを設置場所近くに準備して下さい。
- ・ 給水
電気タイプ同様となります。

以上を準備の上、設置台を用意して下さい。重量が100kgを超えるので丈夫な設置台が必要です。又、台のスペースは、給湯及びコーヒー取り出し口の前面(カップ、ポット等を置く)及びマシン右側(メンテナンスに必要な為)に少なくとも30cm程度のスペースを取って下さい。

2. 設置方法

給水(電気/スチームタイプ共通)

1. フレキパイプを使用して給水用バルブと接続します。
2. 給水圧力は、0.1Mpa以上である事。
通常、給水圧力は、0.2～0.25Mpaくらい有りますが、もし0.1Mpa以下の場合は、コーヒー抽出湯量が不安定になる事が有ります。
3. 給水に不純物(鉄分)が多く含まれている場合や硬度の高い地域で使用する場合は、それらのトラブルを避けるため浄水器、浄軟水器、軟水器の使用をお薦めします。

電気

三相200Vまたは100V(スチーム式の場合)のコンセントに、マシンの電源コードを接続します。
アースは必ず取って下さい。

スチーム

給気、排気の双方の配管をマシンの接続に合う様、配管します。
排気管へは逆止弁、スチームトラップを取り付けたうえで接続します。

※スチーム管を接続する際の注意事項

- ・ 出来るだけマシンの近くでユニオン接続して下さい。これは設置後に修理等でマシンを移動できるようにする為です。
- ・ 接続は蒸気が正常に供給される事を確認してから行って下さい。
マシン内部の配管に異物が入ると故障の原因となります。
- ・ 排気管のスチーム出口は、ユニオン接続しますが、内部にドレーン(蒸気が冷えて溜まる水)が溜まって蒸気の流通を妨げる事を防止するため、ドレーン排出用のバイパスを取り付けて下さい。

設置直後の試運転

設置後

1. マシンに接続されている給水元栓を開きます。
2. マシン右側後ろに有る給水ハンドルを開け、マシン内に給水させます。
これは空焚きする事を防止するため、主電源を入れる前にいき、真ん中ゲージが半分以上になるまでその状態にします。
3. 真ん中のゲージが半分以上給水されている事を確認したら、コンセントを差し込みます。
4. マシン右下の主電源スイッチを入れます。**(注意: 真ん中ゲージに半分以上給水されていない場合は、空焚きとなるため、電源のスイッチを入れないでください。)**
5. サーモダイヤルを回し、『BOIL』の位置に合わせます。
サーモダイヤル内にあるパイロットランプが点灯し、加熱中であることを表します。
マシンは、自動給水動作を行いながら加熱し始めます。タンク水位が規定の位置に到達すると自動で給水動作は止まります。
6. マシン内部の温度は、右側のゲージ温度計にて現在のタンク内温度を表示しています。
温度計の針が、右図の位置まで上がりましたら規定温度となり抽出が可能となります。
7. アーンカバーを外し、スプレーチューブの左右どちらかのタンクに向けて各抽出ボタンを押しまし、スプレーチューブから湯が出てきて調整した湯量で自動的に止まります。



黒い印を指すまで待ち、抽出する



給水ハンドル



主電源スイッチ



サーモダイヤル



加熱する時は右に回し、『BOIL』にダイヤルを合わせます。

調整

湯量調整

試運転が完了しましたら、抽出湯量のご指定に従って、各抽出ボタンの抽出湯量を設定します。

各抽出ボタンの抽出湯量は、マシン内部のタイマー設定時間によって調整します。
内部タイマーの目盛は分を表しています。

設定後、お湯のみを抽出をしてみて、その量を見た上で湯量の増減をして下さい。

温度調整

温度は、設置時に適正温度(約90℃)になるよう調整しております。
もし適正な温度にならない場合は、ダイヤルが適性の位置になっているか確認して下さい。

コーヒーのたて方

1. 準備(毎朝の始動)

主電源スイッチを入れるか、コンセントを差し、サーモダイヤルを『BOIL』のところまで回して下さい。
約30分で沸き上がり、温度計の針が規定の位置まで上がります。



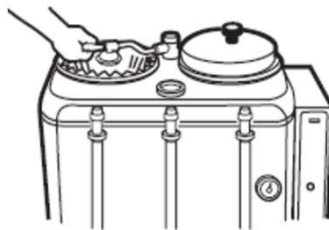
2. コーヒーをセットして抽出ボタンを押す。

1. 片方のアーンカバーを外し、中のバスケットにフィルターペーパーと適量のコーヒーを入れバスケットをマシンにセットします。
2. スプレーチューブのハンドルを持ち、約中心にセットしカバーをセットします。
3. フル/ハーフ抽出ボタンを選んで抽出ボタンを押します。

1



2



3



3. 攪拌機能

コーヒーの抽出が完了すると、マシンは自動的に攪拌機能が働き、約20秒間動作します。

攪拌機能は自動で停止しますが、攪拌ボタンを押す事でマニュアル動作させる事が出来ます。

引き続きコーヒーを抽出するには

片方のタンク(ジャー)に抽出が終わりましたら、そのタンクからお客様へサービスしている間に、もう一方のタンクへ上記の手順に沿って、コーヒーの抽出をする事が可能です。

1度抽出が終わると、マシン内部の温度は低下します。その場合は温度計を見て適温に沸き上がるまで待って下さい。

注意) 抽出直後でバスケットを取り外す時は、バスケットは熱くなっております。火傷には十分に注意して下さい。

給湯の使い方

給湯フォーセットからは、いつでもお湯を出す事が可能です。
しかしお湯を使用するとマシンは自動給水を行う事で、一時的に温度が低下します。
お湯の取り過ぎにはご注意ください。

御使用上の注意、その他

1. マシンをご使用にならない時は、サーモダイヤルを『 OFF 』にして主電源スイッチも『 OFF 』にして下さい。
またはコンセントを抜いておいて下さい。
2. 沸き上げ中は、オーバーフローパイプよりほとほと湯が出てくる場合がございます。
これは水の膨張によるもので故障では有りません。

清掃について

1. 毎日の清掃

・タンクの清掃

2つのタンクそれぞれに対し以下の清掃を行ってください。

残ったコーヒーを排出し、バスケットにコーヒーは入れず水だけで抽出動作を行います。

湯の温度が適温になったら。スプレーヘッドからお湯を出し、長い柄のブラシでタンク内全体をこすり汚れを取ります。

タンクから排水し、再度同じ手順で清掃を行います。

排水後、タンク内部を綺麗なタオル等で水分をふき取ります

すぐに使用しない場合は、4-5ℓの水を貯めておき、次回使用前に排水します。

・バスケットの清掃

バスケットを取り出し、ポリウレタンやセルロース性などの柔らかいスポンジを使い、食品用中性洗剤で洗ってください

洗った後、十分すすぎを行い、柔らかい布で水分をふき取ります。

・外装の清掃

主電源スイッチを切り、マシンが冷えるのを待ちます。

冷えた後、柔らかい布で外装の汚れやコーヒーかすをふき取ります。

外装の清掃が終了したら主電源スイッチを入れます。

2. 二週間ごとの清掃

タンクに残ったコーヒーを排出し、水だけで抽出動作を行います。

お湯が適温になったら、フィルターパウチクリーナー等のコーヒーマシン用洗剤で洗浄します。

タンクを満水にし、用法に従って希釈した洗剤を指定の時間満たした後排水します。

タンク蓋内側とタンク内側を長い柄のブラシでこすり、付着した汚れを取ります。

洗剤の用法に従って指定の時間、蓋とタンク内をお湯ですすぎます。

タンクがすすぎ終わったらコーヒー抽出口から排水します。

タンク一杯にお湯を貯めてから排水します。これを2回繰り返します。

主電源スイッチを切り、マシンへの給水元栓を閉め、マシンに溜まった水を排水します

すぐに使用しない場合は、4-5ℓの水を貯めておき、次回使用前にこれを排水します。

3. スプレーヘッドの清掃

一週間に一回はスプレーヘッドを外し、清掃してください

4. その他

抽出口(フォーセット)と水位ゲージは汚れが付着したら適宜取り外して清掃してください。

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
- ※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。



3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。
- アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書 (業務用マシン)	
型 名	カーチス社製 コーヒーアーンT10タイプ
シリアル番号	
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	お 名 前
	住 所 〒 電話 ()

- ※印刷に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマテック保証サービス(以下「本保証」といいます。)は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマテックジャパン株式会社(以下「ブルーマテック」といいます)がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品(以下「本製品」といいます。)について、「保証サービス規程」(以下「本規程」といいます。)に定めるところに従い、無償修理(以下「保証修理」といいます。)を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障(以下「自然故障」といいます。)を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。(以下、この期間を「保証期間」といいます。)。保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマテックより交換品(新品)が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。(以下、「上限金額」といいます。)なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマテックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行えず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業継承等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマテックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマテックコールセンター(下記記載)に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマテックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマテックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報(製品情報及び個人情報)の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書(必要情報が記載されております。)の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマテックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1か月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマテックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。

なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマテックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマテックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマテックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）」に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマテックは一切の責任を負わないものとします。

但し、ブルーマテックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法は異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損害。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過剰な使用に起因する故障及び損害（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠 等）の外部要因事由に起因する故障及び損害。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマテックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損害。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損害。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマテックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損害。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損害。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマテックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。

この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマテックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマテックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマテックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマテックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマテックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマテックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマテックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店

ブルーマテックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社: 神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

大阪(営): 大阪府大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル5F

福岡(営): 福岡県福岡市博多区豊1-5-24 丸信ビル108

<http://www.brewmatic.co.jp/>



200225